

# CAT<sup>®</sup> CLUB

2022  
NO.  
116



お客様見聞録 >> File 17 勝見建設株式会社

農地と山林を再生し、  
明日につながる地域づくりを  
支える。

CAT<sup>®</sup>



# Team Caterpillar

Technician



愛知県安城営業所に勤務する大木和也は、ユニークな経歴を持つ入社8年目のメカニック。学生時代からサーフィンと旅を愛し、20代にはサーフボードを携えてオーストラリア各地のサーフポイントを転々としながらワーキングホリデーを体験。その後、液晶パネル製造の自動化に欠かせない搬送システムのメーカーに就職し、システムエンジニアとして台湾、韓国、アメリカなどを渡り歩いた。「30歳を機に地元へ戻って腰を落ち着けたいと思い、キャタピラーの求人に応募しました。異業種からの転職でしたが、建設業界は自分にとって“水の合う場所”だなと感じました」フィールドメカニックとしてお客様と直に接するようになって5年、「自分がいるからキャタピラーの製品を選んでくださる。そんなメカニックになりたいですね」そう語る大木は、日々経験を積み上げながら、信頼関係を深めている。

自分は建設機械の知識もほとんどないまま周回遅れでこの世界に飛び込みましたが、キャタピラーにはメカニックの成長を後押ししてくれる理想的な環境が整っていると感じました。

あるトラブルについての対処法を調べたいときにも、技術ノウハウがぎっしり詰まったオリジナルのマニュアルや過去のあらゆる事例を検索できるシステムなど、さまざまなツールを使って答えを見つけ出すことができます。周りに少しでも早く追いつくために、入社当時は時間外や作業の空き時間を使ってトラブル対応のケーススタディをしたり、これらのツールを使いこなして答えに辿りつく最短の方法を調べたりしていました。

建設機械の“生き字引”のような大先輩の指導を受けて一通りの知識とスキルを身に付け、現在はフィールドメカニックとしてお客様の現場に通う毎日を送っていますが、原因究明に手間取ったトラブルなどはその日のうちに復習し、改善策を練るようにしています。

フィールドメカニックは、仕事を止めて待ってくださっているお客様に、いかに早く適切なサービスをお届けできるかが勝負だと思っています。

その日に回るお客様の順番や作業の段取りをイメージして、サービスカーに積む道具や資材の配置を考え、毎朝出勤前、必要な場合には前日のうちに準備するようにしています。現場で無駄な動きを減らすため、機械に対してサービスカーをどの位置に付けるかも重要です。また、それぞれの機種で起きやすい症状や対処法を頭に入れておくことで、判断とアクションのスピードアップに努めています。

1時間掛かるところを50分で終わらせることができれば、お客様は早く仕事を再開できますし、次のお客様をお待たせする時間も短縮できます。小さな無駄も一つひとつ減らせば大きな差がつくと信じて、毎日の作業を振り返って改善しています。

これからも研鑽を積んで、サービスの力で機械を購入していただけるようなメカニックになれば嬉しいです。

「毎日の仕事を振り返って改善を重ね、レベルアップを目指しています」



日本キャタピラー  
安城営業所

大木 和也  
Kazuya Oki

LET'S DO THE WORK.™



# From the WORLD



Australia

MotoGPのスター選手Jack Millerは、オートバイレースと同様、Catマシンにも特別な愛情を注ぎ、D3ブルドーザを所有するオーナーでもある。キャタピラーは、2021年シーズンより彼とスポンサーシップ契約を結び、世界一のライダーを目指すCatオーナーの挑戦をサポートしている。

キャタピラー・マラガ・デモンストレーション & ラーニングセンターにて



## 地球上で最速の Cat®オーナー

MotoGP(ロードレース世界選手権)は、世界中から選抜されたトップライダーが排気量1,000ccのモンスターマシンを駆り、新幹線よりも速い時速350km超のスピードで熾烈なバトルを繰り広げるオートバイレースの最高峰。世界各地の名サーキットを舞台に年間20以上のレースが開催され、会場へ詰め掛けたモータースポーツファンのみならず、テレビ放送を通じて200を超える国々の視聴者を魅了する。

Jack Millerは、イタリアの名門メーカー、Ducatiのチームに所属するMotoGPのスター選手。キャタピラーがスポンサーシップ契約を締結した2021年シーズンの開幕から2度のトップ10入りを果たすなど好調なパフォーマンスを見せ、Catブランドを世界中に発信するミッションを果たしている。

「キャタピラーのように巨大で伝統ある企業のパートナーに選ばれることを、私は長い間夢見てきました。公園の砂場にいるミニカーで遊ぶ子どもたちから、鉱山や街中の現場で働く人々まで、誰もがキャタピラーを知っています。私自身、物心がつく前から熱心なCatファンでした」

オーストラリア・クィーンズランド州タウンズビルの農場で生まれ育ったJackは、3歳の頃、その後もずっと彼を魅了し続けることになる2つのものとの出会いを果たした。モーターサイクルとCatマシン。

「ニュージーランドに住む祖父の家へ行ったときに、1940年代のものと思われる古いD3があったのを覚えています。私は一日中、祖父の隣に座って、いつかこんなマシンを運転できたらどんなにかっこいいだろうかと考えていました」

その後、オートバイに乗り始めたJack少年は、14歳までダートトラックで戦歴を積み重ね、2009年にMoto3クラス(排気量250ccの軽量クラスのレース)で世界選手権に挑戦することを決意。

2014年の同クラスでランキング2位を獲得したことで脚光を浴び、翌2015年ついにMotoGPデビューの夢をかなえた。

「Jackが2021年シーズンからバイザーにCatロゴの入ったヘルメットを身に着けてMotoGPに参戦していることで、Catブランドが世界中のMotoGPのファン、モータースポーツコミュニティとつながり、さらにはMotoGPとCatオーナーやオペレーターがつながるシナジー効果を生み出した」キャタピラーのオーストラリア・マーケティング・マネージャーであるCameron Balzatは強調する。

JackはCatマシンのロイヤルカスタマーでもある。2021年1月にはCatディーラーのHastings Deering社がCat D3ブルドーザを彼の実家の農場に納入した。欧州へ遠征した際にも、レースの合間を縫ってキャタピラーのデモンストレーション & ラーニングセンターに立ち寄り、さまざまなマシンに試乗し、オペレーションシミュレーターによる運転を体験している。

MotoGPのトップライダーとCatマシンのオーナー。幼い頃から抱き続けてきた2つの夢を実現したJackはキャタピラーへの感謝とともに、今年のレースに向けて心構えをこう述べる。「Catアンバサダーになることは夢のようなことで、大変な名誉です。キャタピラーの方々と一緒に仕事ができ、とても幸せです。高速で疾走するオートバイに乗り、転倒や接触のリスクを冒して栄冠を競う私たちにとって、ヘルメットなどレース中に身に着けるすべてのギアはとても大切です。安全のために欠かすことができないギアについているCatブランドを誇りに、コース上のあらゆる危険を取り除いていく努力を続けたいと思います」

そう語るJackのこれからの活躍にますます期待が高まる。



バイザーにCatロゴが配されたヘルメット



実家の農場に納入されたMillerのロゴ入りCat D3ブルドーザ





写真右上:「気は優しく力持ち」というフレーズがぴったりの勝見裕介社長。学生時代に柔道で鍛えたがっしりとした体形で、スーツ姿もお似合っていました。



これまでは廃棄していた間伐材も、太い幹は小割りしてストーブ用の薪に。



細い枝は椎茸栽培の原木として利用。



**勝見建設株式会社**

代表者：勝見 裕介  
 本社所在地：愛知県岡崎市福熊町1丁目152番地  
 設立：2007年  
 従業員数：17名  
 事業内容：とび・土工・コンクリート工事、農地山林の整備など

お客様  
見聞録

File 17



## 農地と山林を再生し、明日につながる地域づくりを支える。

地主や農家の高齢化や後継者不足の進行により、全国各地の地方都市で耕作放棄地の増加や山林の荒廃が問題となっています。そうした中、愛知県岡崎市に拠点を構える勝見建設株式会社様は、土木建設業と農地山林の整備を両輪として、地元に着目した事業を進めています。太陽の下で働くことを愛し、日々の仕事を通して人々とのつながりを育み、地域の活性化に取り組まれている勝見裕介様にお話を伺いました。

### 荒れた田畑や山を元通りに、「第二の故郷」への恩返し。

愛知県の中央に位置し、徳川家康の生誕地として知られる岡崎市。矢作川をはじめとする多数の河川が走る平野部には市街地が広がり、東部は美濃三河高原を構成する山間地帯となっています。温暖な気候、肥沃な土壌、豊富な水資源に恵まれ、米や野菜、果物などの農作も盛んに行われてきました。しかし近年は農業従事者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増え続けているといます。一方、山林の維持管理の対応も追いつかず、荒廃が進んでいます。

そうした中、農地山林の整備・再生に力を注がれているのが勝見建設様です。創業社長の勝見裕介様は、地元の建設会社にオペレータ兼作業員として勤務し、施工現場のノウハウを学ばれた後に独立して2007年に「勝見建設」を法人化。高い技術力を生かして名古屋第二環状自動車道、新東名高速道路をはじめとする大型建設プロジェクトで確かな実績を積み上げながらも、「地元の人々にとって

一番身近な建設会社」を目指して、市内の宅地造成や住宅の外溝工事からブロック塀の補修まで地道な仕事を続けてきました。

勝見社長は福島県のご出身ですが、両親の転勤で愛知に移り住み、岡崎の人々の人柄の良さに惚れ込み、事業の基盤をこちらに置いたといいます。

「東日本大震災のときには戻ろうかとも考えましたが、テレビや新聞のニュースで福島が力強く復興を遂げていく様子を見て、あれだけ大きな被害を受けた土地を蘇らせることができるのであれば、岡崎の荒廃した農地や山林も必ず再生できると確信しました」

3.11からの生まれ故郷の復興がきっかけとなって、「第二の故郷への恩返し」がスタートしました。最近では農地や山林の整備・再生に留まらず、農作の仕組みや収穫、間伐材の利活用までお手伝いしているそうです。

「公共工事でも農業も3月から4月にかけてピークを迎えるため、少ない人員では両方の仕事を掛け持ちするのが大変でした。しかし、1台の機械がそうした状況を大きく変えてくれました」

次世代油圧ショベルCat 320によるICT施工の導入。それが





写真上: 保有機の中で最古参の320E。行き届いたメンテナンスサービスでコンディションは良好です。写真左: 3D施工対応の320は、公共工事や農地の造成に欠かせない存在。



「キャタピラーはセールス、部品サービスセールス、メカニックが1つのチームになって最善を尽くしてくれる」と語る勝見社長(右)。\*左から日本キャタピラー 安城営業所の牧野セールス、大木メカニック。

きっかけとなって、勝見建設様の事業の両輪は一気に加速をつけて回り出しました。

「丁張りや検測といった付帯作業や現場の人員が減らせるようになり、その分の時間と人手を農地山林の仕事に割けるようになりました。私自身、長年建設機械を運転してきて腕には自信があったので、本当に機械任せで大丈夫なのか半信半疑でしたが、実際にICT施工を体験して考え方が変わりました。これまでは4人一組で行っていた作業がオペレーター1人で対応できるようになり、手戻り作業もなくなる。普通の機械に比べれば初期コストは多少掛かりますが、人件費や燃料費の節約分を考えれば、仕事を通じてすぐに元が取れると思います。i-Constructionと聞くとハードルが高い印象がありますが、当社では事務担当の岩崎麻子さんがドローンによる起工測量から3D設計データの作成まで1人でカバーしてくれています」

ICT対応機を地元でいち早く購入したことで元請会社や近隣の同業者から注目を浴びるようになり、受注件数、社員のモチベーションもアップしたとか。人手不足を解消し、若い人が建設業に持っているイメージを変えていくためにも、ICTの普及推進はますます重要になっていくと勝見社長は語ります。

### これまでキャタピラー、 これからもキャタピラー。

ICT施工の導入に際し、キャタピラーをお選びになった理由を伺うと「キャタピラーを選ばない理由がないから」とのお答え。「最初に乗ったミニ油圧ショベルから、これまでさまざまな機種、さまざまなクラスのCatマシンを使ってきた結論です。会社勤めをしていた頃は他のメーカーの機械に乗ることもありましたが、同クラスでも他社機が100のところ、Catマシンなら120のパワーを出してくれます。さらに壊れにくいし、車体のバランスがいいので乗っていて安心感もある。以前は『燃費が弱点』という声も聞きましたが、燃費の差以上の仕事をこなしてくれるし、電子油圧制御になってそんなイメージも完全に払拭されました。自分が建設機械を買うなら、選択肢は一つ。キャタピラー以外を選ぶ理由はありません」

農地山林の力仕事の補助用に小型油圧ショベルを買おうと決

めた際も、Catラインアップの中から303 CR (ショベルクレーン仕様)に白羽の矢を立てたそうです。

「トラックに載せてあちこちの現場へ運んで、農作業のスコップ代わりや間伐材の運搬に使うのにぴったりなサイズ感でした。新型の303 CRはコンパクトで小回りが良いだけでなく、重心が安定していますね。木材を吊って旋回しても揺れが少なく、これまで何人もの作業員が1日掛かりで行っていた作業を数時間で片付けてくれます。購入して日が浅いため、使い切れていない機能もたくさんありますが、実作業を通じていろいろ試しながら便利な活用法を見つけていきたいと思います」

303 CRのセールスポイントであるスティックステアや機械全体の操作性についても実際にお使いいただいた印象を伺いました。「スティックステアは、整地などのブレード作業を行うときに前後進と左右操向がレバー1本でコントロールできるので便利です。操作が楽になる分、ブレードの高さ調節に集中できるので仕上げ精度もアップできます。また、その他のレバーの操作フィーリングや応答性も電子油圧制御によって一段とアップしたと感じます。パワーをキープしたまま、ゆっくり動かしたい。バケットの爪先をあと数センチ動かしたい。オペレータのそんな思いをかなえてくれる機械に進化していますね」

勝見建設様は、大量の土砂を効率よく動かしたい公共工事には320、住宅の外構工事や農地山林の力仕事には303 CR。大小のマシンを適材適所で活用し、生産性の向上、人手不足の解消に役立てています。「あとは、この2台の間を埋めてくれる12tクラスの後方小旋回タイプがあるとうれしいですね。発売を心待ちにしています」



スティックステアを自在に操作して間伐材の運搬をこなされていた土木工部の三上様は、キャリア30年のベテランオペレーター。

### 地元との関係をさらに深め、 人の輪、仕事の輪を広げていく。

年度末までの繁忙期を乗り越え、夏にむけて多くの建設業者が仕事をスローダウンしていきませんが、勝見建設様はこれからの時期も大忙しだといいます。「まず、整備した田畑の草刈り。それが済んだら夏野菜の仕込み、収穫が待っています。もともと『太陽の下で働きたい』という思い

があって建設業界に就職したのですが、本当に年中休みなく工事現場、農地、山林を駆け回って仕事をしています。社員と一緒に汗を流して田畑や山をきれいに蘇らせ、米や野菜、薪、椎茸など、さまざまなものを作り、それを地元の人々に届けて喜んでいただく。キツイと感じることもありますが、とてもやりがいのある仕事です。ゆくゆくは自分たちが畑づくりから手掛けた野菜の販売所を作ったり、それを料理して出せる飲食店ができれば面白いですね」

植えた苗が枝葉を伸ばし、やがて実をつけるように。建設業を幹、農地山林の整備・再生を枝として、新しい事業を育み、地域に還元していく。そうした取り組みに、未来へ持続可能な街づくりのヒントがあるような気がします。

人と人がつながれば、そこに仕事生まれる。つながりの輪が広がれば、仕事の輪も広がる。勝見建設様では、日頃から社員と地元の人々との交流を大切に、近隣の清掃活動を定期的に行っているほか、春や夏にはバーベキュー、秋にはさんま焼き、正月には餅つき大会などを開催しているといいます。「大きなことはできませんが、自分たちの仕事が少しでも岡崎市の活性化や雇用の促進に役立てばいいなと思っています。キャタピラーの皆さんも当社のパートナーとして、今後もより良い製品とサービスの提供をお願いします」





## キャタピラーファイナンス eSignature(電子署名契約)のご紹介

eSignatureは、キャタピラーファイナンスとのご契約をWebサイト上で完結することができる電子署名の仕組みです。パソコンやスマートフォンからWebサイトにアクセスし、数回クリックするだけでご契約手続きが完了。面倒だった書類への署名・捺印、郵送といった手間が不要になります。

**ご契約が簡単&スピーディーに行えるeSignatureをぜひご利用ください!**



### eSignatureをご利用いただいたお客様の声

**01**

法律的に有効だし、セキュリティも2段階認証だから安心できますね

**02**

思ったよりも早く簡単に契約手続きが行えました

**03**

契約書を電子ファイルとしてパソコンに保存・管理できるので便利です

**04**

紙の契約書に比べて手間(署名・捺印、郵送など)が掛からず費用も節約できますね

**05**

パソコンやスマートフォンがあれば、いつでもどこでも契約手続きができるのでホントに助かります



メールによる電子契約書の受け取りから署名完了までの操作をわかりやすくナビゲートする動画をYouTubeで配信しています。右のコードを読み取ってアクセスしてください。



なるほどこれは便利だね!



eSignatureのお申し込みについては、担当のセールスマン、キャタピラーファイナンスまでお問い合わせください。

## Good Support! Good Work!



## Cat®ゼネラルデューティーバッテリー

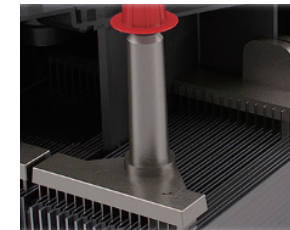
建設機械にとって、バッテリーは重要なアイテム。エンジンの始動時にはもちろん、あらゆる電装機器類を起動するための電力供給にも欠かすことができません。キャタピラーは、過酷な作業環境下でも始動性、耐振動性、メンテナンス性などすべてに高い性能を求めた「プレミアム高出力(PHO※)バッテリー」に加え、中・低負荷の現場で稼働する建設機械向けに最適設計された「ゼネラルデューティー(GD)バッテリー」をお客様の選択肢にプラスしました。価格を抑えながら、業界標準レベルの性能と高品質、高い耐久性を実現。しかも、安心のCat純正部品保証付き(12カ月間)。車両性能をしっかりキープして、お客様のランニングコスト削減に貢献します。

※ PHO: Premium High Output



### ハイパフォーマンス&メンテナンスフリー

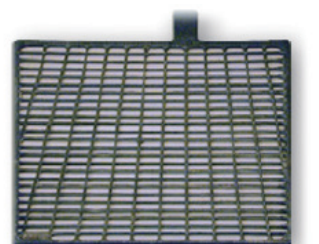
内部ポストを厚くすることで電気抵抗を減少させ、エンジン始動時の高出力化を実現。一方で、カルシウム鉛合金グリッドデザインの採用により、バッテリー液の消費とガス発生を抑制しました。つねに安定したパフォーマンスと信頼性を発揮し、バッテリーの不具合による休車の心配を軽減します。



厚く堅牢な内部ポスト

### 厳しい品質テストをクリア

ショートを防止し、振動を最小限に抑制する微孔セパレータを採用。振動テスト、5G/36時間テスト\*においても機械的損傷や液漏れが発生しない高品質を実現しています。グリッドの金属板には高密度の鉛を使用しているため、より長期間のバッテリー保管が可能です。



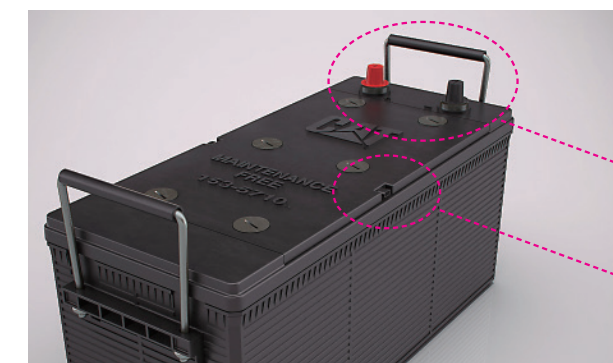
高密度の鉛を使用したフルフレームグリッド

※一部、異なるテスト基準を採用

### 高い安全性を追求

キャップへのアクセスが可能\*なため、酷暑下で液体レベルが低下したときや、安全規制で要求される場合、蒸留水を追加することができます。また、ヒートシール/換気システム設計により、内部および外部の電解質漏出を防止。火災防止安全バントを設け、外部スパークによる爆発のリスクも削減しています。

※一部、キャップがないモデルあり



アクセス可能なキャップ\*

火災防止安全バント



### ◎PHOバッテリーからGDバッテリーへ交換する場合のご注意

PHOバッテリーとGDバッテリーでは寸法が異なります。交換の際には次の2点にご注意ください。

- ケーブルとケーブルクランプが適切にフィットするように調整してください。
- ホールドダウンを調整して、通気口が覆われていないことを確認してください。



# 効率的な現場を実現するスマートマシン 次世代ホイールローダ Cat® 966/972



	966	972
運転質量	23,247kg	24,970kg
バケット容量	4.4m³	4.8m³
エンジン定格出力	219kW	221kW

## 最新テクノロジーによる効率アップ

### Catペイロード/アドバンスドペイロード

バケット積載量とトラック積込み量をリアルタイムに計測するシステムにより、現場の生産管理や過積載・過少積載の予防に貢献。各種の便利な機能により、積込み作業の効率化が図れます。

#### ●チップオフ機能

トラックへの積込み時やストックパイルで積み過ぎた場合の調整時、モニタでバケット内の重量の変化を見ながらリアルタイムに調整できます。

#### ●チップオフアシスト機能

車体センサやバケットチルト圧力センサを追加することで、より正確な計量作業を可能にし、自動でバケットをふるい、目標重量に調整する機能を搭載しました。(アドバンスドペイロード装着時)

## 充実した安全機能

### 360°カメラ(オプション)

車両に搭載された4台のカメラの映像から、車両の真上から見ているかのように映像を合成。オペレータは周囲にいる人や作業車両などをリアルタイムに把握できるので、発進時や運転中の視認性、安全性が飛躍的に向上します。

### 後方障害物検知機能(オプション)

車両後方の検知範囲内に人やモノなどの障害物を検知した場合、キャブ内のモニタに警告を表示。接近状態に応じて警告音も発してオペレータに危険を知らせます。

## 時間当たり作業量 最大10%アップ\*

### オートセットタイヤ機能

掘削時、材料への食い込みを検出すると、タイヤをスリップさせずにバケットに荷が入るよう、自動で適度なリフト上げを実行。掘削作業がスムーズかつスピーディーに行えるようになります。これにより、タイヤ寿命の延長、バケット積載量の増加、燃料消費量の削減を実現します。

## メンテナンスコスト 最大20%削減\*

各種フィルタやオイルの交換間隔を延長し、メンテナンスコストを最大20%削減します。また、リモートフラッシュとリモートトラブルシュートの機能を搭載しているため、遠隔でソフトウェアのアップデートやマシンの状況把握が可能。万が一のトラブルにも迅速に対応可能です。



※当社従来機(966M/972M)比較



持っていますか?  
この資格

## 建設機械の運転資格

特別教育と技能講習の選択について

建設機械を運転するためには、機械に合った正しい資格の取得が必要ですが「特別教育」と「技能講習」のどちらを選べばいいか迷ったことはありませんか？  
今回は、この2つの資格の選択について説明しましょう。

特別教育

技能講習



### 「特別教育」「技能講習」の資格で運転できる建設機械の種類

建設機械の種類	特別教育	技能講習
①車両系建設機械 (整地・運搬・積み込み用および掘削用) ②車両系建設機械(解体用)	機体重量 3t未満	機体重量 制限なし
③不整地運搬車	最大積載量 1t未満	最大積載量 制限なし
④ローラ (締固め用機械)	すべての車両を 運転可能	—

「特別教育」と「技能講習」はどちらも労働安全衛生法に基づく資格ですが、法令では“危険又は有害な業務”に就く場合には「特別教育」、「就業制限業務」に就く場合には「技能講習」を修了しなければならないとなっています。しかし、これだけでは皆さんがどちらの資格を持てばいいのかわかりませんよね。そこで、2つの資格の選択について建設機械の種類別に説明していくことにします。

#### ①車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用および掘削用)

#### ②車両系建設機械(解体用)

これらの建設機械に係る資格は、車両の“機体重量”によって「特別教育」と「技能講習」に区別されています。機体重量とは車両から作業装置を除いた本体の乾燥重量(燃料、潤滑油、冷却水、作動油、工具などの重量も除く)をいいます。油圧ショベルの場合、右下図のように作業装置となるブーム、アーム、バケットは除かれます。

「特別教育」の資格で運転できる車両は機体重量が3t未満のものに制限されますが、「技能講習」では機体重量に制限がなくすべての車両を運転できます。また、車両系建設機械(解体用)の場合も同様に「特別教育」では機体重量が3t未満という制限が付きませんが、「技能講習」では機体重量の制限なしですべての車両を運転可能です。  
※同じ車両でも一般にキャブ仕様とキャブ仕様では機体重量が異なりますので3t前後の車両を運転の際は注意が必要です。

#### ③不整地運搬車

不整地運搬車の場合は機体重量ではなく、車両の最大積載量によって「特別教育」と「技能講習」に区別されます。「特別教育」の資格では運転できる車両の最大積載量が1t未満の制限が付きませんが、「技能講習」では最大積載量に制限がなくすべての車両を運転できます。  
※ハンドガイド式の車両は法令上、不整地運搬車に含まれません。

#### ④ローラ(締固め用機械)

ローラの場合は機体重量などに関係なく「特別教育」のみですべての車両を運転できます。

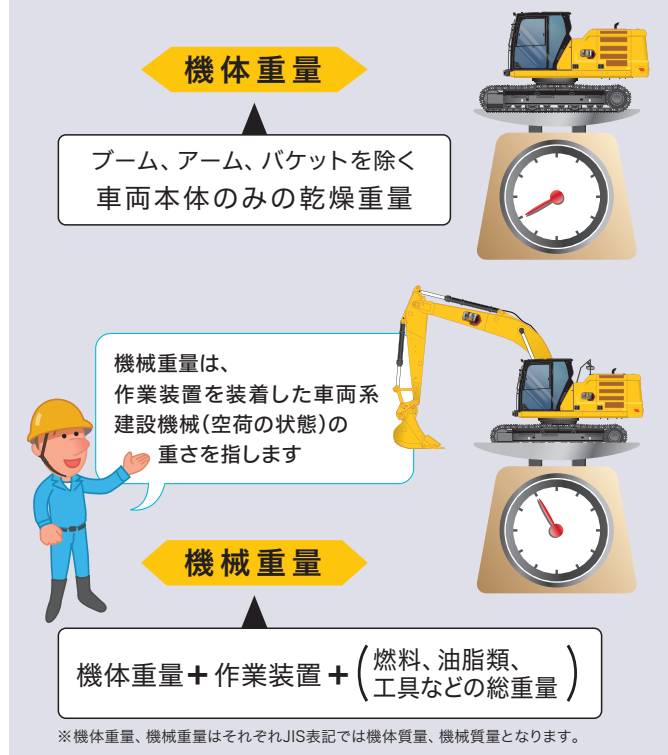
※ハンドガイド式ローラも「特別教育」が必要になりますのでご注意ください。

以上をまとめると右上図のようになります。

建設機械を運転するときには、車両の機体重量や最大積載量に応じて正しい資格を取得しておく必要があります。すでに工事現場で機械を運転している皆さんも正しい資格を持っているかどうか、もう一度チェックしてみてください。

キャタピラー教習所では、建設機械の運転に必要な資格を取得できます。まだ資格をお持ちでない方は幅広い現場で使用できる「車両系建設機械(整地等用)運転技能講習」などの「技能講習」の受講をおすすめします(ローラは特別教育のみ)。講習では、上述の説明を含め建設機械の運転従事者として必要なことを学科と実技を通じて学ぶことができます。詳しくは、お近くのキャタピラー教習所までお問い合わせください。

### ●機体重量とは



技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /  
キャタピラー教習所株式会社

本社：〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1  
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211  
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は

キャタピラー教習所 検索







## Value Selling Tool >>> Cat® 325

### マシンの総合的な価値を「見える化」する VSTシステムでお客様のベストな選択をサポート。

お客様に最大の投資効果をお届けするために。キャタピラーでは、機械の総合的な価値を「見える化」するValue Selling Tool (VST)を導入。燃費、運転経費、保有経費などのオペレーティングコストから、生産性、工期短縮、CO<sub>2</sub>削減といった導入効果、さらには売上・利益やキャッシュフローの予測まで、さまざまな角度から機械の価値をご提示し、ライフサイクルを通じてお客様にご満足いただける選択をサポートしています。

#### VSTによるCO<sub>2</sub>削減効果のご提案事例

株式会社京葉興業様の低炭素ニーズにお応えしてCat 325をご提案

●お客様の声：「日本キャタピラーの石川さんの『次世代325は環境に配慮した機械で、生まれ変わっています！』が最後の決め手。3社競合でしたが、提案資料でCat 325が最も低燃費でCO<sub>2</sub>削減に貢献することがわかりました。さらに生産性や安全性への機能が充実していて、総合的に見て一番性能が優れていました。また建屋の中で作業をするため、クリーンな排ガスも重要視しました。より良い作業空間の実現にも貢献してくれと考えています。オペレータには、普段からCO<sub>2</sub>削減を意識させていますが、作業に追われるとどうしても甘くなるので、それをCat 325のオートアイドルストップやスマートモードなどのテクノロジーでお力添えいただけるのを期待しています」

**株式会社京葉興業様へのご提案**

**325 Next Generation**

燃料コスト **¥1,393,440削減**

CO<sub>2</sub>排出量 **34t削減**

燃費改善 **25%**

メンテナンスコスト削減 **20%**

作業効率向上 **45%**

京葉興業様の取締役 執行役員常務 三浦義博様(左)。\*右は日本キャタピラー 京葉営業所の石川セールス

取締役 執行役員常務 三浦義博様



#### ■ 株式会社京葉興業

代表者：鈴木 宏和  
 本社所在地：東京都江戸川区篠崎町一丁目2番6号  
 URL：https://www.keiyokogyo.co.jp

大正5年に鈴木商店としてスタートし、時代と共に環境対応をしながら企業を成長させてきた京葉興業様。現在は循環型社会をリードして「快適な環境と自然との共生」をスローガンに掲げ、広域で廃棄物処理を行っています。



京葉興業様の取締役 執行役員常務 三浦義博様(左)。\*右は日本キャタピラー 京葉営業所の石川セールス

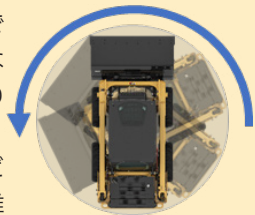
## TOPICS

# Cat® 226D3 スキッドステアローダ

機敏な動きで現場効率を高める、一台多役のユーティリティマシン。公道での走行や作業が可能な車検(大型特殊自動車/小型特殊自動車)に対応し、活躍の幅を広げます。

#### 使い勝手に配慮した汎用性

- ピボットターンによるその場での旋回が可能。畜舎や工場内などの狭い現場で圧倒的な小回り性を発揮します。
- 天井の低い現場やガレージなどに対応するため、車高を低く維持しつつ、長いリーチによる作業高さを確保しています。
- リフトアームの上昇/下降時に、バケットやフォークの角度を維持するよう自動調整するセルフレベルリング機能を標準装備。長いリーチと相まってより汎用性のある高い積み込み性能を実現しました。



※写真は海外のもので、現地の安全基準に沿って撮影しています。

	226D3 大特仕様	226D3 小特仕様
運転質量	2,720kg	2,670kg
バケット容量	0.40m <sup>3</sup>	0.36m <sup>3</sup>
走行速度 (前進/後進)	17.8/17.8 km/h	14.0/14.0 km/h

## PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.116」のご意見、ご感想をお寄せくださった中から抽選で3名様にCatグッズをプレゼントいたします。

**Cat 950Mホイールローダ 1/50 スケールモデル**

3名様  
 ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。  
 お届けの賞品が見本と異なる場合がございますが、あらかじめご了承ください。



〈応募要領〉  
 必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

- お名前 ■ご住所 ■連絡先のお電話番号
- 会社名 ■「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募締切〉  
 2022年9月9日(金)

〈応募先アドレス〉  
 cat-club-japan@cat.com



キャタピラージャパン 公式LINEアカウント



友だち募集中

■コード



■ID @caterpillar

ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。  
<https://www.caterpillar.com/ja/legal-notices/dataprivacy.html>



# 世界への挑戦。

## 2022年グローバルオペレータチャレンジ

世界を相手にする準備はできていますか。

世界 No.1のオペレータを決める

「グローバルオペレータチャレンジ」が再び始まります。

私たちは世界の頂点に立つベストオペレータを待っています。

# TAKE ON THE WORLD



### 開催スケジュール



#### 世界大会

アメリカ ラスベガス  
(2023年3月)

#### アジア大会

日本キャタピラー D-Tech Center  
(2022年10月 予定)

#### 日本地区予選大会

会場・日程はお近くのキャタピラー  
ディーラーへお問い合わせください

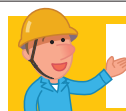
キャタピラー [http://www.cat.com/ja\\_JP/](http://www.cat.com/ja_JP/)

CAT CLUB編集室 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1  
TEL.045-682-3424

CAT CLUBメールアドレス [cat-club-japan@cat.com](mailto:cat-club-japan@cat.com)

©2022 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真には、海外仕様の製品およびオプション装備品が含まれていることがあり、国内仕様と異なる場合があります。

CC-116-0(0622)



CAT CLUB デジタル版も  
好評配信中!



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。  
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC®認証用紙を使用しています。